

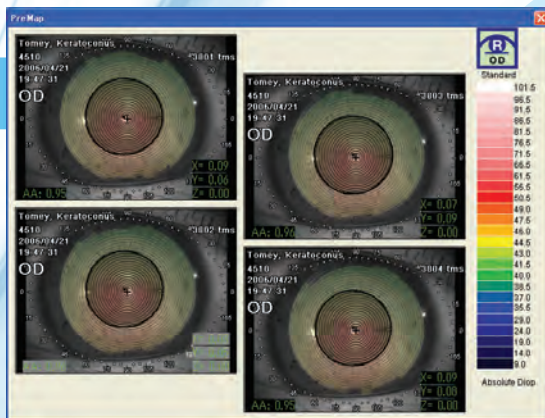
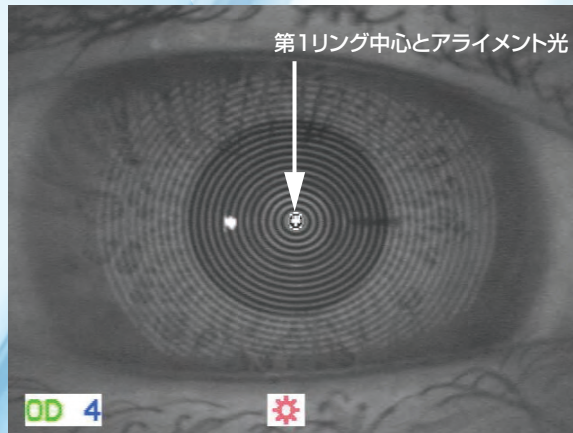
角膜形状测定装置

TMS-4N



オートショット機構

- アライメント光を第1リングの中心に合わせるだけで自動測定します。操作に熟練が不要で、どなたにも確実に測定が可能です。
- Offset(ピント)の合った画像だけを取得するため、ピントずれによる不正確なカラーコードマップを作成する可能性を低減できます。
- 測定者のくせや習熟度の差によるばらつきを軽減できます。

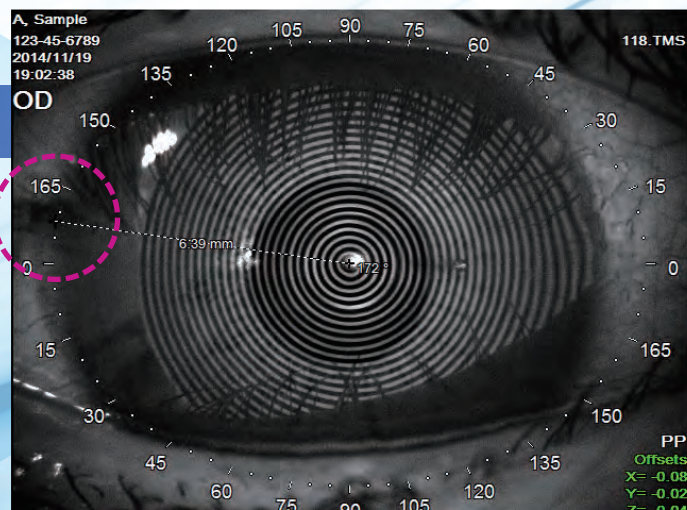


プリマップ画面

- 一回の検査で片眼で最大4枚の画像取得が可能です。
- 解析前に仮のカラーコードマップを表示する「プリマップ」機能を搭載しており、マップの安定性の確認や、どの画像を解析対象として採用するかを選択が行えます。

Axis registration法

- 撮影した画像からマーキングの位置を確認可能で、角度の計測が行えます。得られるマーキングの角度を用いて、手術時にToric IOLの予定固定軸をより精度良く求められます。



高い機能や信頼性を継承

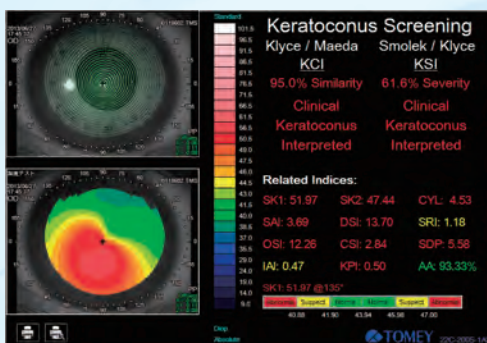
- 主な操作がメイン画面からワンタッチで行え、また日本語入力・表示が可能のため、被検者データ検索やマップ分析操作へのアプローチが簡単に行えます。
- 円錐角膜スクリーニング機能、不正乱視を定量化するフーリエ解析機能のほか、従来から高い信頼性をいただいている豊富な分析ツールが的確な診断情報を提供します。



円錐角膜スクリーニング

円錐角膜スクリーニング機能には、Klyce/Maeda法に加え、ニューラルネットワークを応用して計算するSmolek/Klyce法を備えており、さらに的確な円錐角膜情報を提供します。

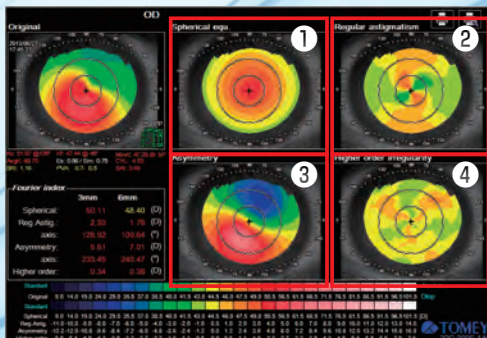
円錐角膜は軽症例を含めた屈折矯正手術の禁忌であり、スクリーニング検査として有用です。



フーリエ解析

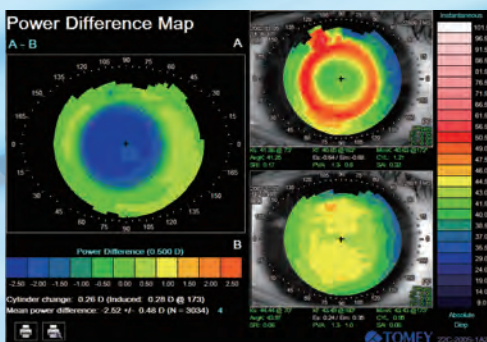
角膜不正乱視を定量化するフーリエ解析機能では、通常の色コードマップを①球面成分②正乱視成分③非対称成分④高次不正乱視成分の4成分に分離し、より詳細な角膜形状評価が可能です。

各種角膜疾患や屈折矯正手術前後における不正乱視成分の評価に有用です。



パワーディファレンスマップ

角膜屈折力の差分マップを表示するパワーディファレンスマップは、白内障術後に起こりうる術後惹起乱視の評価や、オルソケラトロジーなどの屈折矯正術後のセンタリング評価に有用です。



- 角膜中心から周辺への扁平化の比率を数値化した角膜離心率(CEI)を始め、14種類もの角膜形状指数を搭載しています。
- 従来器TMS-1、TMS-2、TMS-2N、TMS-4Aのデータを取り込み、マップ表示やデータ分析が可能です。

仕様

測定部	測定方式	ライトコーン
	測定リング数	25本
	測定範囲	5.5~10.0mm
	表示範囲	10~100D
	最小・最大リング径(43D基準)	φ0.46~8.8mm(25本)
	(測定範囲基準)	φ0.35~10.7mm(25本)
	測定ポイント数	最大6,400(25本)
	リング上測定点数	256点(1リングあたり)
	フォーカシング	自動補正付マニュアル
	撮影	オート/マニュアル
	角膜形状指数	Simk, Mink, CYL, SAI, SRI, PVA, CVP, ACP, SDP, CEI, IAI, AA, EDP, EDD
	アライメントモニター	5.7インチカラー液晶
	寸法	296(W)×508(D)×448(H)mm
	重量	14kg
電源・消費電力	AC100V、50/60Hz、45VA	
医療機器の分類	一般医療機器	
コンピューター部	OS	Windows® 7
	記憶装置	CD-RWドライブ、外付HDDドライブ
オプション	プリンター	インクジェットプリンター/デジタルカラープリンター
	IOLパワー計算ソフト	OKULIX
届出番号	23BX00010100021	

Windows®は米国Microsoft社の登録商標です。

オプション

■ インクジェットプリンター



■ デジタルカラープリンター



■ OKULIX

関連製品

■ 前眼部形状解析装置
TMS-5



■ 光学式眼軸長測定装置
OA-2000



※仕様・外観等は、予告なしに変更する場合があります。

製造販売元

株式会社 **トーマーコーポレーション**

〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号
TEL (052)581-5321 FAX (052)581-5626
URL <http://www.tomey.co.jp>

ご用命は